

新入社員意識調査 ～人間関係重視、居心地の良さを求める傾向～

調査対象: 20年度新入社員講座受講者

調査期間: 平成20年4月3日～7日

回答数: 180名(男性96名・女性86名)

20年度の新入社員のタイプは「カーリング型」((財)社会経済生産性本部)と命名されている。昨今の景気回復の後押し、団塊世代の退職者の補充で企業の求人数の増加に伴い、新卒者の求人倍率は上昇し、それほど苦勞せずに就職できる環境にある。それ故、新入社員の行動や言動も強気であり、就職に対する甘えも見受けられ、会社への帰属意識は低いようである。

19年度		20年度
【就職を決める際に重視したことは】		【就職を決める際に重視したことは】
1位 通勤に便利	↘	1位 職場の雰囲気がいい
2位 自分の能力・個性が活かせる	↗	2位 通勤に便利
3位 職場の雰囲気がいい	↘	3位 自分の能力・個性が活かせる
4位 学校や先生・親類に勧められた	↗	4位 技術・技能が身につけられる
5位 安定性・将来性などの魅力がある	↘	5位 学校や先生・親類に勧められた

20年度結果

【仕事・職場に対する不安】

- 1位 仕事がうまくできるか
- 2位 職場の人間関係・雰囲気
- 3位 生活環境・習慣の変化に対応できるか
- 4位 思ったとおりの収入が得られるか
- 5位 希望の仕事任せられるか

【いつまで働きますか】

- 1位 考えていない
- 2位 定年まで
- 3位 結婚まで
- 4位 転職するまで(勤続5～10年)
- 5位 出産まで
- 6位 とりあえず入社
- 7位 独立開業するまで

【目指す社員像タイプ】

- 1位 人間関係を大切にするタイプ
- 2位 様々な分野で活躍できるタイプ
- 3位 職場の雰囲気を明るくするタイプ
- 4位 専門分野に秀でたタイプ

【理想の上司】

- 1位 人間関係を重視する人
- 2位 仕事をよく指導してくれる人
- 3位 実力のある人
- 4位 若い人の感覚を理解できる人
- 5位 明確な理念・理想を持つ人

【理想の上司を有名人にたとえると】

所ジョージ、石田純一、タモリ、和田アキコ、高倉健、坂本龍馬、巨人上原投手、東国原知事、久本雅美、タモリ、島田紳助、篠原涼子、星野仙一、みのもんた、明石家さんま